



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5  
グランラッセ3次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/小根森 直子

幹事/井上 幸三

●2019~20年度 国際ロータリーのテーマ



●2019~2020年度 三次中央RCスローガン

仲間とつながり、  
クラブに更なる輝きを

- 本日のプログラム ゲスト講演/会員増強・選考・職業分類委員会  
地区増強委員長 北村洋一様(福山RC)
- 次回例会日時 2019年9月30日(月) 19:00~
- 次回プログラム 夜間例会/親睦委員会  
家族会映像鑑賞

## ■第1274回例会記録

- 日時.....2019年9月2日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介  
パストガバナー 前田茂様

■開会挨拶.....小根森会長

## 識字率向上月間

皆さん、こんにちは。急に秋めいて参りましたがお変わりありませんか。

今日は前田茂パストガバナーをお迎えて2019年の規定審議会について御講話を頂きます。前田パストガバナー、どうぞよろしく願いいたします。

私、昨日きんさいスタジアムのそばを車で走っておりまして桜の葉が少ないのに驚き行ってみました。すると鈴なりの毛虫で桜の葉が食い荒らされておりました。早速松本会員に報告したのですが、今年の毛虫のすごさには驚かされます。

さて、9月は基本的教育と識字率の向上月間となっております。そこで今日は教育に関して少しお話をしたいと思います。実は今年度は4年に1度の教科書の選



定が行われました。新しい教科書を見ておきますと驚くほどの変化があります。それはデジタル化です。2019年4月に学習者

用のデジタル教科書が制度化されることが閣議決定されました。

近い将来子どもたちはデジタル教科書と紙媒体の教科書を選択できるようになります。現在でもほとんど全ての教科書の全てのページにQRコードがついていて内容に

関わる動画や音声スマホやiPadで閲覧出来るようになってきました。有名な俳優や声優の朗読があったり、理科の実験の手順が動画で示されていたりします。視覚障がいや発達障がいをもつ子ども達にとっては音声での読み上げは助かります。書き込みも自由ですし、ズームアップして大きく見ることも出来ます。ところが一方で課題も有ります。一人数万円から10万円と言われる費用負担もありますし、「視力や脳の発達に影響はないのか」といった健康面の不安、「動画や音声などの機能に依存しすぎて実際に書く力や考える力が育たなくなるのでは」といった教育的デメリットを懸念する声もあります。さて、日本でデジタル教科書が議論される一方、世界には学校に通うことさえ困難な子どもたちもいます。ロータリアンとしてそういった側面もしっかりと視野に入れて考えていきたいと思ひます。



■「四つのテスト」唱和.....中重俊二会員

■幹事報告.....井上幸三幹事

- 本日19時より、三次グランドホテルにおいて第3回理事役員会を開催します。
- 平田和弘会員より12月31日までの休会届が出ております。
- 第1回創立30周年記念行事実行委員会を、9月9日(月)19時より味の四季庭ひらたにて開催します。

■出席報告.....大前委員長

●第1272回 8月19日

会員数	39名	Make-up	0名
欠席	1名	出席合計	38名
出席者のうち女性会員	1名	出席率	100%

●第1274回 本日の出席は39名中35名です。

■親睦委員会.....沈委員長

先日の家族会皆さまありがとうございました。今日はG12の親睦ゴルフ大会のご案内です。参加者が少ないようなのでもう一度回覧します。G12の親睦の灯が消えないようにご協力の程よろしくお願い致します。

■SAA.....杉谷SAA

●会員誕生日・野村君、大井君



●ニコニコBOXご出宝

ゲスト前田バスターバナーよりご出宝いただきました。  
大井君 前田バスターバナーをお迎えて。誕生日だそうです。お祝いしていただくことに感謝！(大口)  
野村君 何事もなく元気にHappy Birthday(大口)  
安藤君 妻の誕生日。アレンジメントありがとうございました。前田先生、お世話になります。(大口)  
小根森君 前田バスターバナー今日はよろしくお願ひします。主人の誕生日に素晴らしいお花をいただきありがとうございました。(大口)  
沖君 前田バスターバナー、いつもうちの犬がお世話になっています。  
「ゲストに前田バスターバナーをお迎えて」  
平田博紀君、信国君、栗本君、竹野君、石田君、町里君、清永君、井上幸三君、元廣君、上田君、箕田君、村竹君、中島諭君、中島清貴君、和田君、杉谷君

ニコニコBOX本日出宝額 32,000円

事件です！桜が大変

小根森会長の「鈴なりの毛虫で桜の葉が食い荒らされております。」という悲鳴のような報告を受け、松本会員と私の2名はきんさいスタジアムに9月3日(火)午後3時に急行しました。かなりの葉が無くなってしまった桜が4本あり驚きました。写真1

先端の葉が無くなっていたり、一枝の葉が無くなっていたりと被害は甚大。なかなか毛虫の群れが見つかりません。諦めずに丁寧に見直すといきました。写真2

ビックリで、8メートル先まで殺虫剤が飛ぶハチ用のスプレーを持参してよかった。帰りに手を洗い手洗い所によると、張り紙が貼ってありました。写真3

あそびの王国及びプロムナード横の毛虫駆除を行います。指定管理者のミズノもすでに、気が付いていました。雨がポツポツ降り出しましたが、管理事務所に急行。張り紙にはないのですが、野球場の遊歩道の周りに三次中央ロータリークラブで植えた桜の木も毛虫の被害で大変です。いっしょに消毒をと頼みました。すると午前中にロータリーの箕田さんと言う方が消毒をされると来られていました。毛虫が見つげにくかったのは、箕田さんの消毒された後で桜を見ていたからとガッテン。

さすがにフットワークの良い箕田さんです。有難うございました。管理事務所を出たら滝のような雨でしたが、やるべきことが出来て二人の足取りはかろやかだった。完

木曜日の駆除を野球場も陸上競技場の周りも良くてくださいと、翌日、お電話をして要請しました。度々気を付けて消毒をしますとの返事。事件は、現場で起こっているんだ!! 実感しました。お疲れさまです; 箕田さん、松本さん。有難うございました;発見者の会長。

写真1



写真2



写真3

**お知らせ**  
令和元年9月5日(木)9時~12時  
あそびの王国及びプロムナード横の毛虫駆除を行いますので、あそびの王国を一部閉鎖します。園内の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願い致します。本園天候の都合、日にちも変更して行います。

本日は瀧本委員長が欠席のため、私からご案内をさせていただきます。

ゲストにRI第2710地区規定審議会地区委員会委員長でいらっしゃる、前田茂バストガバナーをお迎えし、「2019年RI規定審議会について」というお話をお聞きしたいと思っております。

また、9月はロータリーの基本的教育と識字率向上月間となっております。ロータリーの友9月号の読みどころを紹介したものをお手元にお配りしておりますので、お読みください。

では、しっかりと勉強して充実したロータリー活動をしていきたいと思っております。

前田バストガバナー、よろしくお願いいたします。

信国秀昭ロータリー情報委員



## 2019 RI 規定審議会について

規定審議会地区委員長  
バストガバナー 前田 茂

みなさんこんにちは。

約3年前に2710地区の規定審議会代表議員として指名されました。今年の4月14日～18日まで、シカゴで審議と採択と決定の投票をいたしました。117の議案について丸4日間缶詰で大変疲労が溜まりました。瘦せるかと思ったら、反対に太りました。

本日は、2019年規定審議会決定報告という形でお話しさせていただきます。

ところで、本日はロータリー情報委員会として呼んでいただいておりますが、東日本大震災の時の「希望の風奨学金」は今も続けられていますが、私は会計の任に当たっております、約600人ほどに毎月5万円の奨学金を振り込む作業を承っておりますが、非常にありがたがられております。これがあと7、8年は続けられると思いますが、皆様方にも、何かございましたら、ご協力をお願いしたいと思います。

さて、規定審議会決定報告書から「ロータリアンの皆さまへ」を抜粋して紹介します。

### ロータリアンの皆さまへ

国際ロータリーの規定審議会は、2019年4月14日-18日に、米国イリノイ州シカゴにて開催されました。RI細則第9.150.2項の手続きに基づき、採択された47件の立法案を含め、審議によ

る決定をここにご報告いたします。

審議会では、計117件の立法案が審議されました。この中には116件の制定案と1件の見解表明案がありました。これらのうち、審議会は46件の制定案および1件の見解表明案を採択しました。55件の立法案は否決され、15件の立法案が審議されずに撤回されました。採択された46件の制定案のうち、7件は修正の上採択されました。

採択された立法案の中からいくつかピックアップしました。

- 19-30 例会と出席における柔軟性を認める規定を移動する件(手続要覧88頁)
- 19-35 欠席のメイクアップに関する規定を改正する件(手続要覧91頁)
- 19-62 事務総長は国際ロータリーの最高経営責任者であると規定する件(手続要覧24頁)
- 19-72 ローターアクトクラブにRI加盟を認める件(手続要覧13頁)
- 19-116 標準ロータリークラブ定款を、実質的な変更を行うことなく現代的かつ簡素化する件(手続要覧87-99頁)

本日お手元の資料にも詳しいことが書いてありますし、ロータリーの友6月号横書き16ページにも記載されております。是非参考にしてくださいませようよろしくお願いいたします。



《三次よまま67》

## 二度の水害

会員諸兄の中に、昭和20年9月の水害の記憶のある方はおありでしょうか？

私がこの時の水害の事を知ったのは、小学生の頃でした。祖母（三次町太才町）が「この畳が浮いてね。」と言ったのをやけにリアルに憶えています。今と違ってテレビがある訳ではなく、新聞の情報から今のように水害の状況に付いて知れる訳でなく、ただ、この足の下の重い畳が浮いたというのが、不思議な現象として私の脳裏にインプットされました。ところが、その後大人になってそのことを誰に尋ねても知らないと言います。あれは、祖母の作り話だったのか？と、ずっともやもやした気持ちでいました。でも、知った人がいました！現在、90才、稲垣よしえさん、ブラザの近くにお住まいの方です。以下はその方の書かれた昭和20年と、昭和47年の水害についての記述です。

昭和20年9月17日、終戦から一ヶ月ばかりたった。日本中の物資不足と、敗戦で重苦しいときである。

夕方、ふと見ると戸の隙間から、水がニョロニョロと這うようにして入って来るのである。何の予告もない。階段が一段ずつのまれてゆく。あと3段しかない。2段になった。空を見ると、雨の止んでいる空には、まあい月が皓々として水を見せる。一階の屋根まで上がった水が、道路いっぱい、茶色に淀んで、漂っている。突如、水が黒くなって、山の方へ向かって流れ出した。堤防が切れたのだ。不安になってきた。母がとっておきの砂糖の入った壺を持って来て、部屋の真ん中に置いて「嘗めなさい」と言った。当時は貴重品である。お金を出して買えるものではない。ちょっと嘗めたかもう欲しくない。

水の流れが止まった。雨は前日から止んでいる。

朝になって、水が引き出した。一段ずつ階段が表れた。階段が全部現れた時のうれしかったこと。下に降りてみると、まあ何たる事。水はすべてを持ち上げてひっくり返しているのだ。それにあることか、どれにも便所のウジ虫が鎮座ましましているのである。倉庫には、母が辛抱して蓄えている大豆や、米や、麦がある。それらを入れていたものは水で持ち上げられ、水が引くとき、それをひっくり返している。中にあるものは、下のコンクリートの庭の泥水に浸かっている。母がかわいそうに思えて悲しかった。悔しかった。とうてい食べられないと思った。ところが母は、皆の知らないうちに、それをすくって洗って干して、私たちに黙って煮て食べさせたようだ。

布団は、布をほどいて洗って板張りし、中の綿は取り出して、綿をちぎって、たらいに付けて丁寧に洗っていた。それを、植木や、垣根や、干せる所にはみな干していた。捨てたらもう手に入らないのである。そういう時代なのである。国にどうしてもらおうか、とか、町に援助を求めるとか、戦時中を生き抜いて来た者には、そんな甘えは、全くないのである。

父は、歪んだ筆筒に錐で穴を明け、手作りで5ミリぐらいの、小さな棒状のようなものを作ってそこに埋め、ゆがみを直していた。床板は剥がしてリヤカーに乗せ、近くの小川まで洗いに行っていた。水道のない時代である。片付けに一生懸命であるが、不足や、不満は、一言もなかった。壁も当時は土壁だからみな落ちている。自分で捨てに行き、左官も大工も順番待ちである。何の不足も思わず、ただ待つだけである。

それぞれの家の前に出しているゴミは、おじさんが大八車に、大きい箱を載せて引いて来て、それにすくって入れれば、事足りるぐらいであった。洗剤のない時代である。でも水で洗えば使えるじゃあないか、そうなのである。

水の引いた午後、酒河の婦人会の人たちが白いおむすびを作って持って来て、街角で配ってくださった。自発的である。その嬉しかった事、ありがたかったこと、今でも忘れられない。

その後昭和47年の水害にあった。この時の道路に出されたゴミの山は凄かった。私の目線をはるかに越えるものなのである。ゴミの山の裾を危なっかしく通らなければならない状態であった。ゴミは出しておけば誰かが、片付けてくれる、という甘い思いである。国がしてくれる、県がしてくれる、市がしてくれる。そのことを有り難いという思いはない。人の心は、こうもたやすく、安易な方に動くものか、と驚くのである。

文：和田ひとみ会員

昭和20年9月の台風は、鹿児島県枕崎市に上陸した枕崎台風です。伊予灘から広島を襲い、松江方面に抜けました。被爆直後の広島を襲い、多大の被害をさらに与えました。

「水がニョロニョロと入ってきた」のは内水氾濫と思われます。町中に降った雨や山から流れ込んだ雨水が引川に排水出来なくなって洪水をおこします。敗戦直後では排水ポンプなど無かったので、水があつという間に迫ってきたと思います。川幅も狭く堤防の高さも低かったので堤防が耐えきれず決壊したものと思われます。

昨年の西日本豪雨を受けて内水氾濫防止用のポンプ場の増設やポンプ車を増やすことが行政の取り組みとされています。土手のかさ上げも検討されるようです。水害から町を守るのが三次市の命です。 安藤